



必要な教師データの数

アノテーション実施にあたり、必要な教師データの数は単純に多ければよいというものではありません。精度が高いデータを学習させてもいずれ打ちちとなるからです。

識別・予測の精度を上げるために考えられる施策

- データ数を増やす
- 特徴量を増やすなど、特徴量設計を見直す
- アノテーションの精度を高める
- モデルの入れ替えや調整を行う

AI運用開始後に教師データを活用して学習していくことも可能ですので、初めから教師データを大量に用意する必要はありません。設計時にどの程度の量が適当であるかを見定める必要がありますが、様子を見ながら増やしていくという方法も取れます。

Copyright © CyberTech Corporation. All rights reserved. 8

03-5457-1770

info@cybertech.co.jp
